

第8期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和3年度上半期）

1 地域包括ケアシステムの深化・推進

(5) 高齢者の住まいの安定的な確保				
評価項目	分野	年間目標値	上半期実績値	達成度
⑩居住支援協議会を通じた住まいに関する相談件数とマッチング件数 ※年間合計	介護 住まい	80%	37.5%	B
		率としての目標は未達であるが、相談件数が大幅に増加する中、上半期で昨年度と同数のマッチングを達成。		
⑪居住支援ケース検討会議開催数 ※年間合計	介護 住まい	5回	6回	A
		目標値は上半期時点で達成。新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンライン形式を取り入れている。		
⑫介護サービス相談員派遣回数(施設サービス) ※年間合計	介護	18回	4回	C
		新型コロナウイルス感染拡大の影響により、目標値に対し上半期実績としては少ない状況である。		

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

総合評価

B

担当部署評価

おおむね安定した事業実施ができていますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて実施に困難を伴う事業もある。新しい生活様式の中での支援方法を検討し、工夫を重ねながら、引き続き事業実施に取り組んでいく。

評価委員会評価

上半期において、各事業はおおむね達成できている。
居住支援協議会を通じた取り組みについては、第7期での検討事項にこたえるものとして第8期での事業にあがっている項目である。スタートして間もない事業であるが、高評価である。介護サービス相談員派遣回数は、新しい生活様式下で計画し、実施を試みるべきである。